

札幌市立琴似中学校は、ことし開校六十六周年を迎える。札幌市でも古い学校の一つである。開校と同時に立ち上がったPTAも、現在事務局を中心二つ、の専門委員会で組織され、役員会や年四回の運営委員会を行っている。年度計画に基づく活動に加え、ふれあい活動やボランティア活動など熱心な取組が行われている。本校の特色として

おやじの熱い語りが子に感動を

は「平成おやじの会」がある。PTA活動の延長上に位置付けられており、父親たちが子どもたちのために頑張っている一端を紹介する。

この「おやじの会」は平成十一年に「家庭・地域・学校の教육力の向上を願い、父親たちの

団協 う。 貢真 決して無理しない！ それも、

会の運営は自分たちで行けをやる。

具体的には農業の話、子ども病院の話、生物学、きれいな姿勢、樹木の話、営業について、総合格闘技、水の話、リサイクル事業、伝える力、学校図書館、地震と建物、公認会計士の仕事、新聞の謎、お寺の話など、バーチャルティティに富んでいた。札幌

夢を支える⑦



鷹橋淳治 校長
田中聰 PTA会長
昭和22年5月26日開校 生徒数773人

意識高揚を図る」目的で設立された。会員数は現役、OB 合わせて七十八人である。「おやじの会」のやじの会の行っている事業は三つあり、環境事業（花壇整備、校外巡視、発寒川の清掃）、交流事業（一日講師、部試合、収穫祭、ソフトバレー大会、登山、広報事業（会報誌）で生徒に話しかけたり、子供の絆を温かく見守り、モットーをモットーとして活動の実績を継続していく。事業の一環として、日講師」をキャリア教育とし、事業として観授業などを行っている。昨年は上一年、二年生に三年生が専門としてた。父親が専門としている。父の話を聞くことで、生徒たちの興味が湧いてくる。中学生の間で、この「おやじの会」が評議會で話題となることがあります。

加する自分が楽しむ! 今から新しい友だちつともたちやこの地域をする。トニー、楽しく活動をいる。

ドームの屋根の素材を教材にす
るなど随所に工夫が見られ、生
徒に驚きや感動を与えていた。
どの教室も参觀者が廊下まであ
ふれ、熱弁や笑い声が響くなど
大いに盛り上がりを見せて、生
徒のみならず保護者や教職員に
とっても実際に興味深いもので
あつた。

リノ生徒の笑いがクセになる
なー」初めて授業を終えたお
やじや、何年も授業をしている
おやじたちの笑い声が教室で飛
び交っていた。

今年度の「一日講師」は十一
月一日(日)に予定されており、
ことしもまた、おやじたちの熱
い語りが期待される。

